

報道関係各位

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

長野県初の EV バス型自動運転車両の公道走行社会実験を実施します

株式会社オリエンタルコンサルタンツ(代表取締役社長：野崎秀則)は、一般財団法人塩尻市振興公社(所在地：長野県塩尻市、理事長：古畑耕司)を代表団体とする自動運転車両やAI 活用型オンデマンドバスなどの実証実験に参画しており、この度、長野県初となるEVバス型自動運転車両が市街地の一般公道を走行する社会実験を行いますのでお知らせいたします。

本実験は、EV (Electric Vehicle/電気自動車) 車両を用いた、運転者が操作の責任を持った上で、特定の条件下においてハンドルやアクセル、ブレーキなどの操作をシステムが自動で行うという、長野県初の「自動運転レベル2」の実証走行となり、自動運転技術の実験とグリーンスローモビリティ[※]の実験を兼ねての実施につき、低速(時速約20km)で一般公道を走行いたします。

当社は、今後も、交通政策、交通技術の観点から地域の規模や地域特性に応じた交通まちづくりを行い、地域づくりの政策立案など地方創生を推進して参ります。

※時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称です。

【実証の目的】

塩尻市は、2つのJR駅を中心にそれぞれ形成された市街地とその周辺に点在する農山村地域からなるコンパクトな田園都市で、コミュニティバスを中心とした地域公共交通が運用されていますが、ドライバーの担い手不足や、移動ニーズと路線・ダイヤとの乖離等の課題解決を行うことが必要となっています。本プロジェクトでは、持続性の高い地域公共交通を構築するため、拠点内移動のオンデマンド化と拠点間移動を自動運転化し、双方をシームレスに接続し”塩尻 MaaS”として官民連携体制で運営することとしています。

【実証実験の概要】

期間：2021年11月24日(水)～11月28日(日)

時間：午前9時頃から午後4時頃まで

走行ルート：広丘駅西口～無印良品/ツルヤ塩尻広丘店の区間

走行距離：約3.8km

所要時間：約30分

詳細はこちらよりご確認頂けます

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/10/16207.html> (長野県塩尻市ホームページ)

【実験車両】

タジマ社製の GSM8(手動運転車両/10名乗り)



【実施体制について】

全体統括：一般財団法人塩尻市振興公社、塩尻市

実証実験統括：アイサンテクノロジー株式会社

協力企業：株式会社オリエンタルコンサルタンツ、株式会社ティアフォー、損害保険ジャパン株式会社等

【(株)オリエンタルコンサルタンツの役割】

- ①実証走行およびイベントの検討・運営支援
- ②自動運転車両の乗車モニター等へのアンケート実施・評価
- ③社会受容性の分析・把握
- ④今後、公道での自動運転走行を進める上での課題整理・対策立案

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL:<https://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、丸山